

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	与野本町老人憩いの家
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市中央区本町東5-17-25</p> <p>②施設の設置目的 地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等のための憩いの場を供与し、心身の健康の増進を図る。</p> <p>③施設の概要 開設年月 平成9年9月 構造 鉄筋コンクリート造 2階建(与野本町児童センター)の一部 主な施設 和室、ラウンジ</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和3年度 329千円 令和4年度 329千円 令和5年度 329千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数 1,493人(前年度 332人)</p> <p>◇業務実施状況 「シニア世代の生きがい、やりがいを応援し、地域の中で笑顔で繋がる老人憩いの家」を目指し、利用団体の利用促進を行った。地域包括支援センターの役割を理解し、介護予防として活動する「健康体操」に参加する事により、地域の高齢者の様子を知る事ができた。</p> <p>②維持管理業務の状況 業者による定期的な施設設備の点検、職員による安全点検、清掃、小破修繕を実施し、利用者の安全確保に努めた。</p> <p>③その他の業務 児童センターde花づくり、避難訓練、等</p>
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 329千円(前年度 329千円) ・その他 0千円(前年度 1,917千円) ・前期末支払資金残高取崩 603千円(前年度 0千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務費 155千円(前年度 122千円) ・事業費 91千円(前年度 114千円) ・繰入金支出 625千円(前年度1,937千円)

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	・入室した時から笑顔で迎えてくれて感じがよい。施設を利用させていただくことにあたって、非常に親切、丁寧にあたたかい気持ちで接していただいております。ありがたいと思っています等のおほめの言葉をいただいた。利用団体からの要望として、時計が無い部屋があるので、あると良い。加湿器がもう1台あると良い。避難訓練の放送が部屋までとどいていなかった等のご意見があった。時計、加湿器は設置し、避難訓練の放送については、児童センター併設でもあり賑やかな場所なので、職員が直接伝えに行くとした。
(8)その他	

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	
介護予防と健康づくりの促進	保健師による睡眠について、乳がんについての講話を実施した。また、地域包括支援センターと連携している利用団体「健康体操」への参加をし地域の活動への理解を深めた。
生きがいづくりの支援	近隣の住民の高齢者が、施設内の樹木、花壇の手入れ、草むしり等を実施していただき、職員と共に行いながら良好な関係づくりをした。利用団体が気持ち良く活動できるよう、話しやすい雰囲気作りと、声掛けを行った。
支え合う活力のあるまちづくりの促進	認知症サポーター研修を受講し、いつでも支援ができるよう知識を高めた。
児童とのふれあいの場、高齢者が活躍できる場の提供	児童センターでの紙芝居や、おはなし会を事業として実施する事で乳幼児～小学生、保護者とのコミュニケーションの機会を作った。乳幼児、児童、保護者と花苗を植える行事を実施し、一緒に花壇作りを楽しんだ。また、幼児向けのお楽しみ会の店員として参加していただき、乳幼児、保護者との世代間交流を楽しんでいただいた。

3 評価

(1)指定管理者による評価

<p>コロナ感染症が5類になった事から、団体の利用が活発になった。紙芝居、お話会の団体には、ボランティアとして、児童センターの事業で活躍をしていただき、幼児～児童、保護者とのコミュニケーションの場となり、世代間交流ができた。保健師による健康講話も実施する事ができ、利用者が気軽に専門の方と話をする場を提供する事ができた。また、地域包括支援センターと繋がりのある、健康体操グループにおいては、地域の高齢者の参加希望者が多く、来年度は倍の人数で実施するとのことだった。地域住民の介護予防の効果が期待できるため、今後も利用促進をしていきたい。</p>
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A~D

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・児童センターとの世代間交流の実施や、健康体操などの事業の開催など、利用率向上に向けて努めた点を評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・業者による定期的な施設設備の点検、職員による安全点検、修繕への早急な対応などにより、利用者の安全確保に努めた点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。